



「五感情報科学の最前線」

日時: 2020年2月28日(金) 13:00~15:50 (個別相談 16:00~17:00)

会場: 日本橋ライフサイエンスビル 9階 913会議室 (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

五感応用デバイス研究開発センターは、各感覚を専門とする研究者の有機的な連携による文理を超えた学際的・学融合的な世界に類のない研究拠点として、現代社会における重要解決課題である、認知症、感覚障害者への代替感覚による欠損感覚補完、食・医療・エンターテインメント分野における臨場感伝達デバイスなどの社会実装を目指している。味覚と嗅覚に相当する化学センシング技術に加え、新たに視聴覚情報の物理的センシング技術、さらにはセンサとしてのヒトの感覚器官と高次の認識に至るまでの脳の知覚情報処理のメカニズムの解明を可能にする視聴覚領域研究を融合し、次世代の五感融合デバイスについての学際的な研究開発を行っている。

本セミナーでは、世界をリードする「味覚」・「嗅覚」センシング技術、「眼」から病気を探る最新研究、産業応用に向けた「聴覚」研究の最前線について紹介する。

プログラム

13:00~13:15

「五感応用デバイス研究開発センターの概要」 都甲 潔

13:15~14:15

「味と匂いの可視化イノベーションによる新世界の創造」 都甲 潔

14:20~15:05

「眼を診て全身を知る～疾患の早期発見からリスク予測へ～」 園田 康平

15:05~15:50

「音と聴覚: 知覚心理学・言語学・音声科学の融合研究」 中島 祥好

16:00~17:00

個別相談

講師プロフィール



都甲 潔 (九州大学 高等研究院 特別主幹教授、五感応用デバイス研究開発センター 特任教授)
昭和55年3月 九州大学大学院博士課程修了、九州大学工学部電子工学科助手、助教授を経て、平成9年4月より九州大学大学院システム情報科学研究教授。平成20年~23年、システム情報科学研究院長。21年より主幹教授。25年より味覚・嗅覚センサ研究開発センター長。30年より現職。



園田 康平 (九州大学 医学研究院 臨床医学部門 外科学 教授)
1991年九州大学医学部を卒業。九州大学眼科学教室で臨床研修後、九州大学生体防御研究所にて免疫学を専攻。学位取得後、米国ハーバード大学・スケブス眼研究所に研究員として留学。2000年帰国後九州大学病院勤務を経て、2010年 山口大学眼科学教授就任。2015年より九州大学医学部眼科学教授に就任。現在に至る。



中島 祥好 (九州大学 芸術工学研究院 デザイン人間科学部門 知覚心理学 教授)
1978年3月に東京大学文学部心理学専修課程を卒業し、同大学大学院に進学するが翌年5月に就職のため中退。大阪大学教養部助手(心理学)、九州芸術工科大学芸術工学部助手(音響設計学科)および助教授を経て、1999年8月に同大学より博士(芸術工学)を授与され、2000年4月九州芸術工科大学教授に就任。2003年10月に九州芸術工科大学と九州大学とが統合したことにより、九州大学大学院芸術工学研究院教授(音響部門、改組のあとデザイン人間科学部門)に配置換え。2009年7月九州大学主幹教授の称号を授与される。2013年4月、芸術工学研究院附属応用知覚科学研究センターを設立し、センター長として九州大学全体を視野に入れた文理融合型の知覚研究を育てることに努める。2018年11月、五感応用デバイス研究開発センターが設立されたときには、視聴覚部門に参加する。聴覚心理学の成果を生かした音声信号処理について6件の特許の筆頭発明者であり、3月末に退職したあと起業の予定。

【申込先】 : 九州大学日本橋サテライト 電話 : 080-3362-5427 E-mail : n-satellite@airimaq.kyushu-u.ac.jp

【申込方法】 : 電子メールでお申込ください

件名を「第8回九州大学日本橋サテライトセミナー申込」とし、本文中に企業名、部署、役職、氏名、電話番号、メールアドレス、個別相談の希望の有無(※希望の場合、講師名と相談内容)を明記ください。

主催:九州大学 学術研究・産学官連携本部

共催:九州大学 五感応用デバイス研究開発センター、(公財)九州大学学術研究都市推進機構